

2019関東同窓会総会・懇親会に214人 縦糸と横糸で織りなすネットワークを目指して



静中・静高 関東同窓会 会報

静中・静高関東同窓会
会報 第88号
令和元年12月5日発行
編集人 八牧浩行
(82期)



目次

2頁	講演 4頁	幹事所感 5頁	新会長挨拶
6頁	各期幹事会1月開催	7頁	恩田氏講演会
9頁	〈私と俳句〉溜飲と妄想	古書コミ報告	
10頁	私のボケ防止対策	即位日の天皇の装束	
11頁	江の島会の歴史	「命の恩人」に感謝	
12頁	たかが同窓会⑨	13頁	青い鳥の金の卵
14頁	大人の部活動	天皇の素顔・英国留学時代	
15頁	岩手ツアー	ウニ牧場、南部曲がり家	

令和初となる45回静中・静高関東同窓会総会が、七月五日（金）東京日比谷の日本プレスセンターで開催され、新会長に84期の杉山順一副会長が選任されました（新会長挨拶は5頁）。

当日は、ご来賓の母校教頭・熊ヶ谷智子様、本部同窓会副会長・興津哲雄様（84期）、同・岡村幸彦様（93期）、中部支部長・加藤政幸様（91期）、本部同窓会事務局・山口純二様（89期）をお迎えし、総勢214名の賑やかで和やかな会となりました。

当番幹事である我が97期は、一年半前に「プロジェクト始動！」とサプタイトルを銘打ち、新年会を開催。その後は、「時間と体力の省力化」をモットーに、全4回の準備委員会を節目にしながら緻密な準備をして参りました。講演テーマについては、自分たちが興味あるものは何か、若い方も来ていただけるテーマは何かを皆で検討。まだ先の見えない第2回準備委員会までは不安もありましたが、岡

村浩志君が救世主となり講演を引き受けてくれたことで、講演テーマとリンクするかのようになり、明るい未来を感じながら準備を進めることが出来ました。オリンピック自国開催を控え、インフラ整備やチケットの話題など、世間のわくわくムードに便乗できたことは誠に幸運でした（講演内容は次頁）。

懇親会は、会場移動が落ち着くまでの時間を利用して行った野球部後援会長・河村卓利氏（96期）によるたっぷりとしたスライド上映から。現役静高球児一人一人の表情が手に取るようにわかる楽しいものでした。本部同窓会代表のご挨拶をしていただいた興津副会長が「私は静商ファンです」と笑いを取ってくださったのも、高校野球愛に包まれた温かい会場の雰囲気なせる業でしょう。御年82歳、いつも小粋な浦田彰氏（71期）の元気な乾杯御



関東在住の元野球部が当日進行を担当

発声を皮切りに、短い時間ながら楽しい歓談タイムとなり、最後は逍遙歌を大合唱。皆様の笑顔のおかげで、幹事一同、幸せな気分で会場を後にすることが出来ました。

これまで数多くの皆様のご支援協力賜り、総会・講演会・懇親会を無事に終えることが出来ましたことを、心より御礼申し上げます。

【人生の息抜き】として本同窓会が末長く続きますことを切に祈念いたします。

（幹事所感）4頁へ続く

講演(要旨)

東京2020大会の成功に向けて
～「創造」現場から準備状況の報告～

東京都庁・建設局 岡村 浩志



本講演では、東京都庁に勤める一技術職員の立場から、東京2020大会に向けた創造ものづくりの現場のお話をします。

大会の日程は、開会式が7月24日(パラリンピックは8月25日)で、インターバルを含むと約一ヶ月半にも亘り、東京は大会一色となります。

大会規模についても、前回の1964大会と比べ2020大会は約二倍の規模となり207の国と地域、1万2千人が参加する史上最大規模の大会になります。

中央区晴海のオリンピック選手村を中心に無限大の記号「∞」をイメージとした二つのゾーンに集中して配置する計画で、都心部をヘリテッジゾーン、臨海副都心部を東京ベイゾーンと呼んでいます。ヘリテッジゾーンでは、日本武道館や代々木体育館、東京国際フォーラムなど既存の施設を多く活用しています。一方、臨海部を中心とする東京ベイゾーンでは、12施設のうち実に11施設が新たに建設されています。尚、整備費の増大などから見直しを行い、バスケットボールやレスリングなどの競技会場を東京以外の既存の会場に移し、8都県の配置とな

りました。

《メインスタジアム》

まずは今大会のメイン会場、オリンピックスタジアムです。ご存知の通り1964大会のメインスタジアム跡地に建設しています。当初は、イラン出身の建築家ザハ・ハデイド氏の個人的な案が採用され、準備を進めていきましたが、当初計画の約二倍となる二、五二〇億円の建築費が見積もられてから見直し論が噴出し、遂に2015年7月、白紙撤回となりました。その後、再公募により建築家・隈研吾さんを中心とするチーム案が採用されました。

新スタジアムの最大の特徴は、国産木材と緑をふんだんに使用する「杜のスタジアム」を目指していることです。また、施設全体の高さを抑え周辺の景観との調和も図っています。スタンドの空調設備を外し、その代わり外からの通風を良くする構造にしたのも特長の一つです。ただ、後々のことを考えると木製部材のメンテナンスや、建物内の植物管理には配慮が必要で、大会後は陸上用コースを撤去し、球技専用の競技場へ

の衣替えが閣議決定しているとともに、年間24億円の維持管理費を含む運営権を、民間事業者に売却する予定です。新スタジアムは今年11月に完成しますが、東京23区初となるJリーグのホームスタジアムが誕生するかも知れません。

《日本が誇る高い技術》

水泳競技を行う江東区辰巳の東京アクアティクスセンターは、東京都が567億円を掛けて施工しています。辰巳地区には、既に辰巳国際水泳場があるため、二重投資との指摘から、小池知事より徹底した費用削減を命じられ、費用削減の工夫として、リフトアップ工法が採用されました。一般的な建築では柱の周りに足場を組み、職人が上に登って屋根を作りますが、この工法は、最初に地面上で屋根を製作し、四隅の主柱を利用して、油圧ジャッキなどにより屋根をリフトアップします。これにより高所作業に必要な費用や工期の削減に成功しました。一方、屋根自体、相当な重量がありますので、持ち上げた瞬間に屋根の自重で、たわみによる変化が発生します。それを予め計



2019.10 撮影



2019.3 撮影 (注水前)

算し、計測しながら均等かつ円滑にリフトアップするためには、極めて高い技術力が求められます。本工事は、日本のゼネコンの技術力を世界にPRする格好の機会となりました。

《担当した仕事》

カヌー・スラロームセンターは都立葛西臨海公園の隣に建設されることから、我が建設局が施工することになりました。公



当日リハは、ややゆったり



準備委員会は97期のホーム@「やんも」



3週間前リハ@「長島・大野・常松法律事務所」

園内にある大観覧車に乗ると会場を一望することができます。

カヌー競技というと、自然の急流の中で大きな岩を除けながらゴールする映像を思い浮かべるかもしれませんが、現在の国際標準では、コンクリート製の「流れるプール」のような

コースに人工的に急流を作り出すのが主流です。この会場が完成すると、日本初の人工によるカヌー競技施設になります。ポンプによる水流と、所々に配置されるプラスチック製の障害ブロックによって急流が生み出されます。流れは三基のポンプによって1秒間に12トンも排出される強い力です。これは小学校の25mプールを約30秒で満杯にするパワーです。1回注水すると、水道料金は1千万円以上掛かることに加え、電気代も相当掛かり、大会後の維持管理や活用について検討が必要です。

その他、故郷のある静岡県にも、伊豆市の日本サイクルセンターの中に自転車トラックレースが行われる伊豆ベロドロームが設けられます。

《輸送関係》

道路・鉄道等交通の混雑は2020大会の最大の課題と言われています。都は三本の柱(スムーズビス)による計画を立て

ています。

①ICT等を活用して通勤せず

に仕事をする「テレワーク」

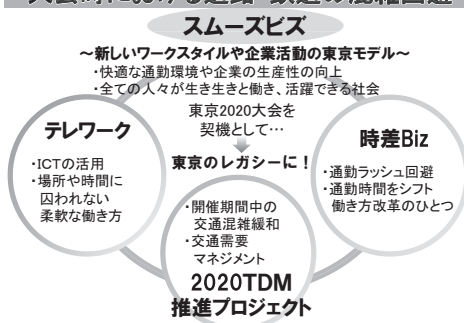
②通勤時間をずらしてラッシュ

の平準化を図る「時差ビス」

③TDM、道路の交通需要マネ

ジメント

大会時における道路・鉄道の混雑回避



《レガシー候補》

現在のオリンピック憲章では、大会ごとのレガシーが義務付けられています。1964大会では、オリンピックに向けて整備された高速道路や新幹線、環七などのインフラ、海外からのお客を迎えるホテルなどが挙げられます。その他、この大会に合わせたテレビの普及

や、セコムなどの民間警備会社の社会的認知、街を清潔に保つためのポリバケツも大会を契機に普及しました。世界中の人が一様に描かれた意味を共通に理

解できるピクトグラムも、東京1964大会が最初です。

東京2020大会のレガシー

としては、新たなスポーツ施設

は勿論、この大会を契機に認知

度の高まりが期待されるボルダ

リング、スケートボードなどの

新しいスポーツの普及や大会施

設の活用、インフラ関係では

本日は紹介できませんでしたが、環状2号線や国際クルーズ

ターミナルの整備、羽田空港発

着ルートの拡大なども該当する

でしょう。交通需要システムや

働き方改革につながるテレワー

ク、時差出勤の普及によるライ

フスタイルの変化も、成功すれ

ばレガシーになり得ます。加え

て、この大会はIoTやAI、

オープンデータなどの技術を駆

使した実験場になり、自動運転

車両の実験配備、会場周辺の警

戒警備にもICT技術が活用さ

れ、これらも該当します。

そして、大会を契機に、海外

の方々に日本の文化や風習を楽

しんでもらうと共に、交流の場

を増やすことで日本人の美点と

も言える「おもてなし」の精神

が世界に拡散・浸透していけば、

見事なレガシーになるかと考え

ます。

前回と今回の大会レガシーを

大まかに比較すると、前回は、

高度成長期の中で欧米諸国に追

い付き追い越すためのものが多かったことに対し、今回は、安定成長の中で新たな技術や発想を生かした成熟した社会の姿を示すものが多数レガシーになるのではと思います。

あと385日で、東京を中心に「スポーツと平和」を合言葉にして、世界が一つになります。本日の講演により、皆さんが東京2020大会に一層、興味を持っていただく一助になれば幸いです。

(要旨担当 97期・杉本文秀)



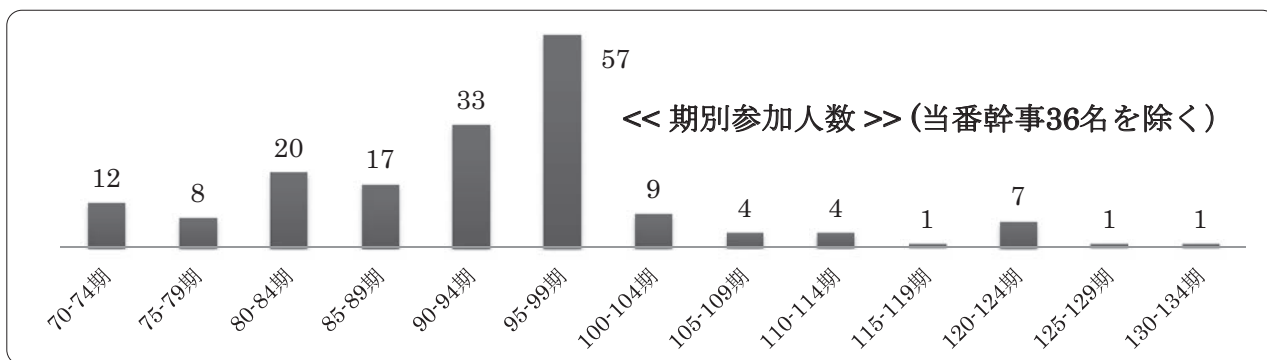
今年はアトラクションを割愛。
正味45分の貴重な飲食談話タイム



ソファエリアを立食ブースに。
遠慮がちな若手を誘導



受付ラッシュは17:30頃から



幹事所感

「盛り上げる」と

「永続的に盛り上げる」の違い

同窓会の性質を考えると、やはり、どんな世代もどの期もまんべんなく関わり続ける事が大切ではないでしょうか。人によつては、「今は同窓会どころじゃない」「子どもがまだ小さくて預けてまで行けない」「今はみんなと顔を合わせたくない」「そんな方もいらっしゃるでしょう。でも何年か経ち「ちょっと行ってみようかな」と人生のタイミングが合った時、常に温かく迎え入れてくれる静岡の関東同窓会が存在している。そんな会であつて欲しいと思います。

上のグラフでおわかりのように、20代～40代は、むしろ参加してくださる方が希少価値であるような状況です。どうしたら来ていただけるのか、大きな課題です。

年会費抛出者の頁の見方

皆さんは、春（五月）発行の会報に掲載される「年会費抛出者」のページを、どのようにご覧になつていらっしゃるでしょうか。「さて、同期は誰が載っているかな？」実は私もそんな見方しか

していませんでした。今年、幹事をやるまでは。

この同窓会の参加費は5千円。それは飲食代の一部でしかありません。会場費、会報印刷・郵送代など、一年間の活動を維持しているのが年会費です（本部からの有難い助成金もあります）。年会費のおかげで、総会収支はそこから数十万の赤字補てんをしています。参加費を値上げせずに開催しているのは、少しでも多くの方に気軽に来ていただき、交流する事を最優先しているからです。

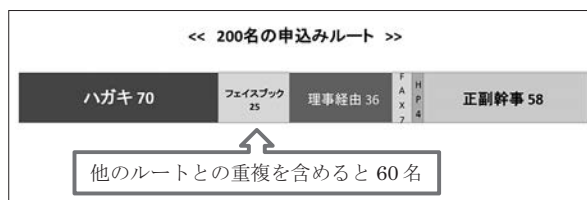
素晴らしい夜景の見える都会の一等地、レストラン「アラスカ」の美味しい料理と最上のサービス、良心的な日本記者クラブの方々。古き良き友との再会、胸襟を広げて語り合える仲間や刺激をいただける先輩後輩との出会い。ビジネス展開に、就活に、婚活に…。同窓会とは、それぞれの人生のパワーとなる可能性を無限に秘めたコミュニティであるかと思ひます。私たちが快適で楽しい時間を過ごせるのは、これまで年会費に想いを込めて納めてくださる（その多くは大先輩の）方々の下支えのおかげです。そのお一人お一人に大いに感謝しなくてはなりません。春の会報最終ページは、愛の詰まったページなのです。

時代と伴走

この10年ほどで、SNSが普及。情報交換や連絡が益々便利になりました。従つて広報は勿論、参加申込受付でもSNSを活用してみました。世代は中年期以降（30代～50代）が中心でしたが、思った以上に利用されました。

ちょっとずつ変える

ただ、この同窓会の良いところでもある【年齢層の幅】を考慮すると、幹事の視点だけでなくでも変えてしまうのは良策ではないかも知れません。古き良きものは遺していく。しかし、やつてみないとわからないものもあります。本同窓会は、このチャレンジが許される懐の深い組織です。今年もいくつかの項目での変更を、多くの役員理事の皆様にご指導ご理解を賜りながら試みました。「変化」自体に抵抗を感じる方もきつという方もいらっしゃるでしょう。一方で時代は進み、若い方々の参加もス



ムーズに行う必要があり、その塩梅がポイントかと思ひます。変更の許容範囲を肌で実感するには、やはり各世代との繋がりが重要になっていきます。中年期の方には、出身部活や同業種の繋がりで是非リーダーシップを発揮していただき若い方々への橋渡しを、またこれまでプチ同窓会などで同期と交流を持つて来られている方々も、この関東同窓会では期を超えたおつきあいを視野に活動に参加していただけたらと思います。まずは知り合うことから。それがこの関東同窓会を10年後、15年後、それ以降、永続的に盛り上げる糸口になるかも知れません。

（97期・中沢京子）



次期当番幹事98期代表・星野典子さんに引継ぎ完了致しました。いただいたお酒は97期で飲み干しました。98期の皆さん、お手伝いありがとうございました。若い世代へのアンケート結果は6頁です。

新会長挨拶

84期 杉山 順一



このたび静岡高校関東同窓会の総会におきまして会長を拝命致しました84期の杉山順一です。「分に過ぎたる大役」である事は重々承知致しておりますが、副会長の方々、理事・

監事・各期幹事・顧問の皆様方の暖かいご支援に心を寄せつつ会長職をお受け致しました。同窓会会員の皆様方にはどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて「関東同窓会はいつ設立されたのか」と言うオリジンを調べて見ましたが昭和46年（1971年）3月、東京にて「静岡同窓会関東大会開催」と言う記録があります。300人程が出席し盛会だったのでこれを受け同窓会本部はその規約を改定し（関東）（関西）（中部）に「広域支部」を置くことが決まりました。関東の卒業生各位はこれを契機に昭和50年（1975年）6月3日「静岡同窓会関東支部」（関東同窓会）を設立し、初代会長

は宮沢次郎氏（42期）でスタート致しました。従いまして本同窓会も立ち上がって今年で45年目、私は第11代会長と言うことになりました。

この間本同窓会を取り巻く環境は大きく変わりました。社会も経済も、そして同窓会の命綱でもある会員皆様への伝達手段も変化しましたし同窓生皆様方の「同窓会への思い」も世代間の中でまた変わってきました。そうした時代の中での新しい同窓会執行部の出発です。私は「大事にしたい先人の事跡」「この会を育む将来への夢」「郷愁感溢れる静岡への思い」「若い人達の同窓会への期待意識」等

など「多様な静岡への思い」を「多様なまま」受け取り、どんなドアからでも入って頂ける、そしてそこにはいつも笑顔がある、そんなステーションをこの同窓会に創って行けたら、と思っています。静岡の校舎本館前の櫻並木、遙かに望む富士山、そしていつも我々を見守ってくれた竜

爪山、校内を歩けば在校生達の弾むような声・声・声。この日本に誇れる学習環境をこれからも是非守り発展させて行くべくこの同窓会は活動して行きたいと考えています。

私は今まで同窓会発展に随分とご尽力頂きました多賀谷前会長のご意志を継承しつつ関東同窓会の更なる発展を目指し微力を尽くしたいと思っておりますので会員各位におかれましてはどうぞ倍旧のご支援をお願い申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

第10代会長 多賀谷秀保さん6年間、関東同窓会にご尽力いただき、ありがとうございました。



新体制

会長	杉山順一	84期
副会長	青木式	82期
"	高橋宏	87期
"	片山秀	88期
"	柴原千朗	94期
"	曾根正裕	95期
"	中沢京子	97期
監事	松島勤	84期
"	増井喜一郎	85期
顧問	野方重人	77期
"	八牧浩行	82期
"	多賀谷秀保	82期

理事	浦田彰	71期
"	栗田収司	77期
"	上田尚亮	79期
"	久野淑子	83期
"	竹田徹	85期
"	成岡和美	86期
"	野口ひろみ	86期
"	松村淳子	88期
"	笠松一久	89期
"	牧野尚夫	89期
"	深沢英昭	90期
"	山下雅子	90期
"	鈴木宏	91期
"	藤嶋善彦	91期
"	日下淳	92期
"	清水篤	92期
"	服部泰子	92期
"	阿部哲也	93期
"	芦野光憲	96期
"	大澤理	96期
"	稲葉克哉	99期
"	尾高泉	99期
"	谷津剛也	102期
"	青山亮介	119期
"	渋谷泰子	119期
"	杓谷匠	119期

静中静高関東同窓会組織図

令和元年10月15日現在
Ver.13



◆ 専門委員会

アンケート実施

当番幹事を終えた97期より、今後の参考になればと100期以降の参加者の方々に工夫点・改善点を伺ってみました。皆で考えて行き、若い方々も参加しやすい同窓会作りができたらと思います。貴重なご意見をありがとうございます。

◆メディアやSNSをもっと多用

◆受付での集金は現金だけでなく電子マネーを導入

◆幹事の若返り（もう10歳、15歳若い期でもいいのではないか）

◆複数年代による幹事
◆ペーパーレス化（総会資料不
要）

◆懇親会ブラス化(年代別、テーマ別、業種別など。話しやすいテーマ設定)

◆懇親会を前半(同期)、後半(期をまたぐ)の二部形式にしてはどうか

◆（転勤多い世代）会報が実家に送付され案内を逸するので他のルートでの告知希望

◆各期グループFace book、グループLINEでの拡散

◆ 20代30代の参加モチベーションを上げる、ビジネスの現場で

ンに直結する ヒシネフ面で
ヒントや繋がりが得られる懇
親会（ex.有名企業の経営者や
メディアに出ているキーマン
の招聘）

2020年各期幹事会のお知らせ

副会長 94期 栗原 千朗

次回の各期幹事会は、新体制初の運営となります。今までの以上に充実した会と致したく、種々準備を重ねております。

これを機に、皆様と『関東同窓会のこれから』を是非ご一緒に考えて行きましょう。

【開催概要】

日時 令和2年1月18日(土)
午後0時15分～2時45分
会場 日本プレスセンタービル
10階ホール(今年度より)
会費 5千円



★今回は土曜開催

開催日が平日では参加が難しい方々にもご参加いただけるよう、土曜日の昼間に設定しました。1月の開催なので、新年会を兼ねて懇親ができるように致しました。

★二部制に拡張

当日は二部制です。第一部は、現在の同窓会の諸活動をよりご理解して頂ける場とし、そして、第二部の懇親会は、各期近況報告と分けて進めます。

①活動報告



② 各期近況報告



★多くの皆様の参加検討と
各期とのネットワーク作

「冬の総会」に位置付けられるパーティー形式の和やかな懇親会です。幹事以外の方々にもお気軽にご参加いただけるように、広い会場を予約しました。

各期幹事からの発信を機会にしたネットワーク作りも考えており、ご欠席の場合でも、幹事宛に近況報告をいただけると幸いです。ネットワーク拡大の為、若い世代も参加できる企画を検討中です。

★申込はWEBも可能に!!

申込は、従来のFAXに加え、スマホやパソコンのメールでも、申込を可能としました。本会報をご覧の皆様には、WEBでの連絡を呼び掛けるものです。尚、いずれも12月25日までのご返信にご協力をお願いいたします。

① スマホからの申込

左記QRコードよりURLを取得し、必要事項を入力の上、ご送信をお願いします。



↑スマホ用QRコード
各期幹事会出欠
連絡フォーム
ご欠席もご連絡を

② パソコン・FAXの申込

今回、関東同窓会のメールアドレスを新規作成いたしましたし

た。左記のアドレスまたはFAX宛へ、各項目（*印は必須）を、ご記載いただき、ご送信をお願いします。

- ① ＊出欠席の別
 - ② ＊卒業期
 - ③ ＊お名前
 - ④ ＊住所＆TEL
 - ⑤ ＊電話
 - ⑥ メールアドレス
 - ⑦ 近況＆コメント
- 【個人情報取得目的】

【個人情報取得目的】

今回取得します個人情報
は、関東同窓会の会報送付と各種
企画の連絡に限定と
しますこと、ご了承
下さい。

★多彩な催し物あります

- ▼ 古書コミ同時開催
- ▼ 新企画（お楽しみに！）
- ▼ 野球部近況報告
- ▼ 校歌・逍遙歌斉唱



多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

【mail】 shizukokanto @ gmail.com
【FAX】 (事務局宛) 03-3257-0820

流されるのではなく、渡るのです。

あなたの橋を架けよう

第40回静岡高校教育講演会の応援に行ってきました

本誌第87号でお伝えした「第40回静岡高校教育講演会」が、5月10日(金)に開催されました。講師を務めたのは、二〇一六年度芸術選奨の文部科学大臣賞を受賞し、俳人、文芸評論家として精力的に活動する恩田侑布子さん(91期)。「あなたの橋を架けよう」という演題で、「変化し続ける現実を能動的に読みとり現実と反響させていく力を身につけ、未来をたくり寄せてほしい」と若者たちに力強くメッセージを送り、会場は驚きと感動に包まれました。

見原 万智子(95期)

関東から応援に

母校では毎年5月に、各界の第一線で活躍する同窓生を講師に迎え、静中・静高同窓会主催による「教育講演会」が行われています。

40回目となる今年度は、俳人・文芸評論家の恩田侑布子さん(91期)が講師を務め、「あなたの橋を架けよう」という演題で、5月10日(金)午後1時半から、静岡市民文化会館大ホールで開催されました。

これまで、成人の入場は保護者と同窓生に限られていましたが、今回初めて一般公開されました。在校生、保護者、静岡市内外からの聴講者、俳句会(代表・恩田さん)の皆さん、そして多くの同窓生が近郷近在から集まり、会場はほぼ満員となりました。

ました。

関東からは川面忠男さん(75期)、八牧浩行顧問(82期)、島田淳君(95期)らが、朝から応援に駆けつけました。

運営面では山本均君(95期)が写真・ビデオ撮影を担当し、島田君がスライド操作をサポートしました。

晴天のもと薫風に伴われ、牡丹を思わせる色鮮やかな装いで会場に現れた恩田さんは、照明の位置、BGMの音量、歩く速度に至るまで、本番直前まで入念なりハースルを行いました。

この日のために用意されたスライドは100枚以上。「辛かった子ども時代」、「高校時代に出会った感動の俳句」、「世界でなぜ俳句が人気か」、「読むという行為」、「東洋思想から饒のこと

「静岡時代は消極的不良でした」



ば」、「俳句朗読パフォーマンス」の6章立てで進められました。

耕し読解で未来を創造する

序盤は、心の置き場を求めて本の森と自然の森、二つの豊かな森に深く分け入り、静岡時代に中村草田男、飯田蛇笏の二句と出会い安らぎを得たこと等が語られました。

次に、季語の背後に存在する大自然は近代的な自我を超えたものであり、俳句を作るとき、人は感情を季語に託して自我を広やかなものへ解放すると解き明かしました。

続いて、常にダイナミックに変化する現実社会を能動的に読みにいき、読み取ったものを主体的に現実と反響させる「耕し読解」(この講演のために考案した造語)はあらゆるクリエイティブの土台であり、未来

をたくり寄せる力となる。静岡高生の皆さんにはぜひ耕し読解を身につけていただきたいと訴えました。

さらに釈尊の教えに触れながら、今からの十年間で、生涯を支える精神の骨格をつくっていただきたい。時の流れに流されるのではなく、あなたがただけの橋を流れの向こう岸へかけてくださいと、力強いメッセージを送りました。

最終章の俳句朗読パフォーマンスでは、美しい声と所作により、13句を日本語で、8句を日仏の言語で詠み上げました。

大地が揺らぐような経験を

終演後、大人たちは「とにかく素敵な時間だった」「盛りだくさんの難しい内容だったのに、スッと頭に入ってきた」「数日間余韻に浸りたい」と興奮気味に話していました。

対照的にほとんどの静高生が無言で会場を去って行きました。若いのに静かだなあと不思議に思いました。

一方、楽屋には、恩田さんに質問しようと約30人もの静高生が詰めかけていました。恩田さんはご自身の経験や具体例を挙げながら、一人一人と真剣に向き合っていました。途中から口ビーに場所を変え遅くまで続いた熱い対話を、ひとつだけご紹介

介しましょう。
生徒…恋愛についてお聞かせください。

恩田…誰かを好きになる。それは足元の大地が揺らぐような体験です。そして人間は、人を好きになって初めて、この世界の本当の美しさが見えるようになります。世界の見え方が変わります。ぜひ、恋をしてください。

一生、転依(てんね)です

夕刻からは葵区駒形通りの「角寿司」(伊藤茂行さん(85期)のお店)で懇親会が行われ、俳句会の皆さん、恩田さんのワンダーフォーゲル仲間をはじめ



優れた俳句は極小の音楽である

とする大勢の同窓生たち、関東メンバーが恩田さんを囲み、心温まる時間を共に過ごしました。何とその夜のうちに95期3名がワンゲルに入会。卒業期や職業を超えた新たな絆が生まれました。

俳句初学者の私は、「その日、自分が一番いいと感じた事を俳句にする。先生（選者）がどう評価するかは問題ではないと僕は思うよ」という川面さんのお言葉を大切にしていこうと思いました。

俳句会の皆さんは、次の句会の兼題（予め示されているお題）の構想や、作品をパソコンで管理する方法等、熱心に語っておられました。八牧顧問から「皆さんで俳句を吟じる。さぞ典雅な時間でしょうね？」という質問が向けられると、「いいえ。いつもボコボコになりますよ」「そうです。サンドバッグのように叩かれます」という

お返事が。

「でも、恩田さんは一切垣根というか分け隔てが無く、誰とも平等に接するので、何を言われても気にならないし、だから続けていけるのです」という言葉から、講演で聞いた「転依」（てんね、常に心の拠り所を変えつつ心を磨くこと）が実践されているのだなあと思いました。

帰途につきながら、「何故ほとんどの静高生が無言で会場を去って行ったのか」という疑問が再びわいてきました。精鋭の群れとは言え、まだ十代の若者たち。あつという間にスイッチを切り替え「これから部活行くつしよ?」「タピオカカフェ、寄つてかな?」「というような会話が少しは聞こえてきても良さそうなのですが…

自分で橋を架ける

数日後、静高生たちの教育講演会アンケートを読む機会を得て、謎が解けました。「圧倒された」「驚きだった」という感想が数多く寄せられ、恩田さんの講演がそれこそ「足元の大地が揺らぐような」体験



この世界の本当の美しさを知ってほしい

この世界の本当の美しさを知ってほしい

だったことがうかがえます。しかも彼らは驚いておしまいにするのではなく、恩田さんのメッセージを丸ごと深く受け止め、自分の言葉で決意を表すために自らの魂と向き合っていた、だからあれほど静かだったのです。

以下、アンケートの一部をご紹介します。紹介し、彼らの未来に幸多かれと祈念して拙稿を終えることにします。

俳人というだけあって、言葉の一つ一つに重みがあり心にくる話がたくさんありました。そして、俳句の奥の深さやおもしろさも再認識することができました。数ある話の中で一番心に残っているのは、「無常を嘆かず積極さに転ずる」という言葉です。自分にはもう何もないからと言ってただ生きているだけではなく、何もない状態から新しい道を目指すことの大切さがよくわかりました。とてもためになる話ばかりだったので、機会があればまた話を聞いてみたいのです。（1年男子）

今回の教育講演会ではとにかく圧倒されました。俳句＝破行句という考え方には驚かされました。また、ただ恩田さんの職業や人生の話、という訳ではなく、私たち高校

ふるいにかけてられた「一級品」に体当たりしよう



生に向けて、恩田さんからの、「耕し読解」をしてほしい、という熱い思いが伝わりました。また、「昨日の吾に飽くべし」という松尾芭蕉の言葉は、今の私でも心に刻むべきものだなと思いました。

これまで厳しい境遇で育ってきた恩田さんだからこそ、全身で魂のこもったパフォーマンスを創りあげられるんだらうな、と感じました。今回教えて頂いた貴重なものたちを大切に心に留めておきたいです。（2年女子）

私たちがこれからの時代をつくっていきます。このままAIにまかせて、AIに人間がのっ

とられる世界でいいのだろうか。恩田侑布子さんが何度も繰り返し返していた「耕し読解」。これがこれからの世界で本当に大切なことだと思った。今まで以上の経済、技術の発達と人々の精神の安定、どちらも実現させるような世界をつくっていきたい。

私も恩田侑布子さんのように強く、たくましい女性になる!!!

（3年女子）

※島田君が、この日のスライド、講演録および質疑応答を収めたバインダー3冊を作成し、静高図書館に寄贈しました。貸出用のバーコードも付けていただきました！ご協力いただいた司書の大塚さんに、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

※関東同窓会ホームページでも静高生のアンケートを紹介しています。

<http://shizuko-kanto-alumni.com>

※また、静中・静高同窓会報第169号（10月発行）に講演記事が、俳句会のホームページに講演録（原文・川面さん）および静高生アンケートが掲載されています。是非高覧ください。 <http://araki-haikukai.sakurane.jp>

わたしと俳句

人生100年時代の俳句

（留飲と妄想）

95期 菊入 みゆき
（俳号 銀河みゆ）

髪立てて

ギター担ぎて龍天に

昨年春に作った拙句である。季語は「龍天に」。龍が春分の頃、天に昇り、雲を起こし雨を降らせるという中国の言い伝えに由来する。

勤務先の大学で、掲句のような若者の姿を見かける。髪になにやら工夫を凝らし、重い（であろう）楽器を嬉しそうに担いでいる。若さがうねり、龍のように立ち昇っている。

私が俳句を始めて25年が経った。上達はしないが、楽しい。ともかく17音に納めれば、達成感が得られる。一応作品になるので、仲間と鑑賞し合い、句評を交換したりできる。掲句は、「粗野な感じが季語と響き合う」などと評され、それだけでもう、作者が昇天しそうであった。

ちなみに、「龍天に昇る」の対になる季語として、「龍淵に潜む」がある。秋分の頃、龍が沼の淵に潜んでいるという言い伝えによる。こうした普段聞き

なれない季語に触れ、使ってみるのも俳句の面白さである。

麻シャツの

どうだいた肩叩き来る

麻シャツが季語である。麻シャツ氏、やけに気安い人なのだ。おしゃれでもある。人の肩をばんと叩き、さしたる意味もなく「わはは」と笑ったりして、フランクだ。一見、夏の仲間同士の爽やかな交流だが、叩かれた方の「は？」という唐突感、「あ、こいつか」という面倒くさい感も表現してみたつもりである。

俳句には、留飲を下げる効果があると思う。目の上のたんこぶのような同僚とか、嫌みな上司などを登場人物に仕立て、17音にはめ込む。俳句にすることで、たんこぶを観察、分析するし、たんこぶと感じている自分のことも客観的に見たりする。「なあんだ、大したことないな」と不快感が軽減する。なによりも、これで一句できたじゃないかと、損が得に転じた気になる。

別れよか

杉葉ばちばち折りながら

さて、恋の句である。こうした遊びができるのが、俳句の醍醐味だ。杉葉とは、杉の葉に似



大学で講義中の筆者

＜プロフィール＞

明星大学特任教授、JTBコミュニケーションデザイン内ワーク・モチベーション研究所長。
二〇一六年の静中静高同窓会（幹事学年95期）では「やる気スイッチの入れ方 お教えします！」をテーマに記念講演の講師を務めた。「事例に学ぶモチベーションマネジメント」「できる人の口ぐせ」等の著書がある。

た植物で、つくしと同じ地下茎から生える。つくしのように、節でぼちつと切れる。その杉葉をばちばち折りながら、別れ話を切り出しているという景である。句仲間には「怖い」「こんなことをされたら、男は凍り付く」と評された。確かに。そう言われてみると、自分が、妙齢のぼちばち女（？）になってイケメン男性を振っているような気になる。

俳句の楽しさは、句の中で広げる妄想にもある。現実の自分を抜け出し、若者にも老人にもなれる、なんなら異性にもなれる。しかも、化粧もコスプレ服も不要。ペンと紙、いや今はス

マホのメモ機能か、があればオツケーである。
これからも新しい季語に挑戦し、たんこぶ俳句で留飲を下げ、妄想をたくましくして、残りの

人生を楽しみたい。人生100年時代、残りが数十年ある。
一句一步。

※俳句ブログを書いています。
<http://sambal.blog.fc2.com/>

古書コミ

令和元年七月五日（金）同窓会総会 古書コミ報告

関東同窓会総会にて、今回も古書コミ活動実施され、多くの本が集まりました。

売上金額

1,773円となりました。

ありがとうございました。各期幹事会実施分（来年）と合わせて、次回総会にて、図書券として母校に贈る予定です。

今回、95期の見原様より母校の図書館古書コミコーナーの最新写真を撮影いただき、同じく島田様は、その写真をパネルにして見やすくしたり、スマホから本部へアクセスできるQRコードなどなど、当日古書コミ活動支援いただきました！その模様は写真でご覧ください。

◀続々本が集まってきました



こぼれ話 上海帰りの本

『上海の出張先から直接会場へ来ました』と、古書コミのために本を携え、「どうぞ」と、差し出されました。うかがえば、出国の際にわざわざこの本をもって搭乗し、仕事をして、直接に同窓会総会の会場にと、ハードで重い思いをこの本に託されました。というのも、この本は、2月開催の各期幹事会で開催された古書コミで、他の同窓生からの本を読み継いだものでした。

「上海帰りのリルならぬ本ですわね。」思わず、言った私も古



▶スマホでアクセス

母校古書コミコーナー 最新状況



ポケ防止に やっていること

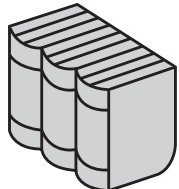
81期 若桜木 虔
(本名 稲村 直彦)

日本国語大辞典という、日本で最大の国語辞典がある。この辞典は、時代劇を書こうとする人間にとっては必須(と私は考えている)。

日本国語大辞典の特徴は、見出し語となっている言葉が、いつ誰によって最初に使われたのか、が出ていることである。つまり、この辞典で調べれば、書こうとしている時代に、その言葉が使われているか否かが分かる。

「その時代には存在しなかった言葉」を使ってしまう時代考証間違いを犯さずに済む。が、時代考証に正確を期そうとすると、使いたいのに使えない言葉が出て来て困る。少し、その例を挙げてみる。

「霧囲気」は北原白秋の造語。江戸時代の文政十年が「霧囲気」の初出だが、これは「地球を取り巻く気体」という意味(まだ「空気」という言葉がない)だった。ずばりニュアンス的に同じ代替用語が見つからない。



「迷信」「情報」は森鷗外の造語。「不可能」「一枚岩」は夏目漱

石の造語。「天衣無縫」は正岡子規の造語。「勘違い」「小走り」は樋口一葉の造語。「深呼吸」は石川啄木の造語。

面白いのは「戸惑い」だ。現代の用法の「戸惑い」は尾崎紅葉の造語。「戸惑い」は江戸時代からある言葉だが、「入るべき家の戸口の位置が分からずに惑う」という意味だった。

江戸時代には表札を掲げる習慣がなかったから、似たような家が建ち並ぶ武家屋敷街などにいったら、確かに「俺が訪ねてきた屋敷の戸口は、どこだ?」と戸惑うことになるが。

「血飛沫」は昭和時代の造語。江戸時代だと「血が繁吹く」と言った。これなどは代替用語があるから良いが、「返り血」は太平洋戦争以降の中島敦の造語。時代劇のチャンバラ・シーンで返り血を浴びたら、どう書いて良いのか、実に弱る。

「魅力」は谷崎潤一郎の、「魅力的」は高見順の造語。これは「魅入られる」という動詞を使えば良いから問題ないが。

「頑張る」は太平洋戦争以降の造語。戦前は、「がんばる」は「眼張る」と表記し、歌舞伎役者が両眼をカッと極限まで見開いて見得を切るような動きを意味した。確かに、何かに頑張ろうとする際に、そういう表情をする人は、いる。そこからで

きた言葉だろう。

なぜ、こういうことを書いたかというと、ある若手の時代劇作家から「初めての版元と付き合ったら、その校閲さんが時代考証にやたら煩くて、『日本国語大辞典によれば、この物語の時代に、この言葉は存在しません』と、言葉の書き換えを求められるんです」という悩み相談を持ち掛けられたことに始まる。

私は、それまで日本国語大辞典の初出を信じていたが、「果たして、本当にそうか?」と、ふっと疑問に持ち、古事記、日本書紀、懷風藻、続日本紀、日本書紀、天皇実録、本朝文粹などに当たる作業を始めた。いずれも奈良時代から平安時代前期までの古典である。

書き下し文だと、どうしても書き下した人の恣意的な作為が入り込むので、原文の漢文で読んだ。今も読み続けて、ポケ防止に役立てているが。

そうすると、幕末から明治にかけての造語とされる言葉(日本国語大辞典では、頼山陽、福沢諭吉、坪内逍遙などの造語だと、解説されている)が、次から次へと見つかる。

つまり、こういった幕末から明治にかけての文豪たちは日本の古典を原文で読んでいたことが実感できた。ところで、日本

国語大辞典には、収録の漏れ落ちを指摘して改訂時に採用して貰う《日国友の会》という投稿サイトがある。

ここに、漏れ落ちに気付く都度、投稿していったのだが、遂に、その投稿回数が二千を突破した(日本国語大辞典ほどの大辞典にして、いかに漏れ落ちがあるかが分かるだろう)ので、この一文を纏めてみた次第である。

即位の日の天皇の装束

86期 野口 ひろみ

今回の即位の礼のニュース番組の中で、天皇のお召しになる「黄櫨染御袍」という語を何度か耳にしました。そして、テレビでは「平安時代以来の伝統的な装束」と説明されていました。天皇も皇太子も(今回は皇嗣の宮と呼ばれることになった秋篠宮が皇太子の着る衣服と定められた黄丹の袍を着ていました)その他の男性皇族も臣下に当たる侍従たちと同じ形の袍で束帯姿と呼ぶ形です。黄櫨染という色が天皇の公式行事の色として歴史に登場するのは平安時代の初めですが、大きな四角く張った形の袍を上に着た束帯姿が出来上がったのも平安時代のことです。



この、袍という名前の衣服はもとと隋・唐から入ってきた衣服で、聖徳太子画像で太子の着ている衣服がそれです。(お札にもなった聖徳太子画像が太子の生きていた時代のものでなく、奈良時代に描かれたものであり、この姿も奈良時代のものと考えられるのが、面倒なところ(です)見るからに唐風の衣服で、唐に倣って正式な衣服を決めていた様子を知ることができます。正倉院宝物にもこの頃の袍の実物が残っています。中国風の丸衿で袖は細く手の先に余る長さのものです。これが制度化され、朝廷における毎日の仕事で使われていく中で、おしゃれに工夫するなどで変化し国風の袍になったのが、私たちの前に平安絵巻さながらと見える束帯の袍なのです。

漢字を使って日本語を書いている中から和様のかな文字を発明したように、服飾の歴史でも唐風から国風への変化があったのです。

宮廷の正式な衣服として袍を

取り入れたとき、即位式と元旦朝賀の儀式にのみ着る特別な衣服として、中国で古くから特別な時に着た祭服という形式も取り入れました。律令制度の中で礼服と定められたものがそれで、イメージとしては始皇帝の衣服としておなじみのような衣服です。正倉院に、聖武天皇が礼服に組み合わせた烏や冠(平安時代に即位式の時に借り出して壊れてしまった残欠)条帯などが残っています。制度では五位以上の人が着ることになっていましたが、やがて、即位式の時にのみ天皇だけが天皇の礼服、袞冕十二章(日月星辰など十二の文様のついた袞衣と垂れ飾りのついた冕冠)と呼ばれる衣服を着るようになりました。これは長く続いて、江戸時代最後の天皇孝明天皇の即位の時に約二〇〇年ぶりに新調されました。この孝明天皇の袞冕十二章は残っています。しかし次の明治天皇の即位の時に、余りに中国的だという理由で袞衣を廃し黄櫨染袍に変えて今に至っているのです。

黄櫨染袍は平安時代から続く天皇の装束ではありますが、即位式の衣服としては歴史が浅いという結論です。

(元山脇学園短期大学教授

(服飾史・服飾美学))

江の島会72回の歴史

82期 富坂修

今年も第72回江の島会が54名の参加を得て、いつもの場所(相州恵比寿屋)で、いつもの日(9月の最終日曜日、今年は29日)に開催された。

江の島会の始まった年は定かでないが、恵比寿屋の当主永野清氏(35期)が娘の藤沢高等学校入学を機に、担任の先生に挨拶に行かれた。その先生が村松直氏(42期)であった。いろいろ話をしているうちに、静岡中学の卒業生であることがわかった。そこで静岡の話しながら、酒でも酌み交わし、懇親の情を深めようということになり、平塚市長になった戸川貞夫氏(27期)を入れ、恵比寿屋に集まったのが最初であった。

その後、村松氏が湘南地方に在住している同期生を中心に呼び掛け、段々と人が集まるようになった。また、湘南地方ばかりでなく、神奈川県をはじめ東京、千葉、埼玉の同窓生にも呼び掛けた。最初はごく少人数の集まりであったが、集まる人達も増えてきたので、きちんとした会合にしよう、会費も割り勘でしよう、会則も作り会長も設けようということになり、初代会長に戸川貞夫氏にお願いした。

江の島会発足は、永野氏と村

松氏の出会いがあったからであり、そのきっかけは永野氏のご息女の高校入学である。その年が昭和30年(1955年)だった。始まったのは昭和30年で64年前と考えるのが妥当だと思う。昭和35年頃までは年2回ほど会合を持っていたので、今年72回ということとつじつまが合う。発足の当時の経緯から、江の島会の趣旨は会員同士の懇親の情を深め、岳南健児の誇りをもつて、お互いの健康と活躍を願い、母校発展に寄与することとした。そして、「明るく、楽しく」をモットーに会は運営されてきた。会の運営費は、当日の会費、寄付金、交付金で賄い、年会費は不要とした。会の終わりに必ず校歌を1番から4番まで歌うことも江の島会の特色であろう。4番までの歌詞を知ら



小嶋さん親子

ない人が増えたので、歌詞カードも配られている。なお昭和の時代には2次会が弁天橋の上の屋台で、沈みゆく夕日を眺めながら開かれたのも語り草になっている。

さて、今年の江の島会であるが、19年ぶりに命の恩人に再会(76期杉山貢氏・93期小野泰洋氏)と親子での参加(82期小嶋善吉氏・前静岡市長・110期小嶋亮太氏)という2つのエピソードを残して、終宴した。来年はどのようなエピソードが起ころか期待している。

江の島会で実現

「命の恩人」に18年前の感謝

93期 小野泰洋

人の出会いというのは実に不思議です。私は今回、初めて江ノ島会に参加しました。何が何でも出なければ、という想いがあったからです。福岡県沖ノ島の仕事を1日早く切り上げて、朝一番の飛行機や電車を乗り継いで滑り込むようにして出席しました。実はこの日、講話される杉山貢さんにお会いし、どうしてもお礼を申し上げたかったのです。

私は今から18年前、胆石の手術後、原因不明の髄膜脳炎を発症して入院中に突然倒れ、数日間意識不明に陥り、植物状態になりました。その時、横浜

杉山医師と小野さん(右)



市大病院の救命救急センターでお世話になった方が「杉山貢」さんというお名前の先生でした。もちろん当時は静高の大先輩だとは知りませんでしたし、意識を失っていたのでお顔も拝見していません。

その後意識を取り戻し退院を迎えた日、お名前を頼りにお電話をし、面会してお礼のご挨拶をしないと申し出たのですが丁寧には断られました。直接お礼を言えなかった悔いを残しつつ病院を後にしたのですが、その時の気持ちは時と共に消えかけていました。ところが、メールで届いた江ノ島会の案内を見てびっくり仰天！ 記憶の彼方に眠っていた杉山貢さんのお名前がよみがえり、案内文を何度も読み返しました。あのとき命を救ってくださった先生が静高の大先

輩だったとは！ 驚きと同時にこの繋がりに感動しました。

江ノ島会で、初めてお目にかかり幹事の富坂さんのおはからいで皆さんの前で18年前のお礼を言うこともできました。先生も想像していた通りの方でした。幸い脳炎は再発もなく、後遺症もあるのかないのか本来の頭の悪さと区別が付きません。毎日、健康に働いています。70年の歴史を持つ江ノ島会が、梅ヶ島温泉「梅薫楼」とのご縁で江ノ島「恵比寿屋」で続いているように、歴史のある静高の先輩とのご縁や出会いに改めて感謝すると共に、その繋がりの輪の中にいられる幸せをしみじみ実感しました。

◆原稿・写真を募集します！

静中・静高関東同窓会の本会報(年2回＝5月、12月発行)とホームページ(随時更新)は、同窓生と関係者が老若男女問わず行き来する「情報広場」「ニュース交差点」です。関東での同期会等の開催、同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセーなど、お気軽に投稿してください。ファイル添付で以下のメールアドレスにお送りいただければ幸いです。郵送の場合は左記関東同窓会宛にお願いします。

yanak@reordhina.co.jp
(八牧)

静中・静高関東同窓会事務局
東京都千代田区神田鍛冶町
3-7-13 敷下ビル6F
野方法律事務所内

たかが同窓会、 されど同窓会 19回 シズナカって何ですか

71期 浦田 彰

9月某日 131期の後輩A君から「同窓会報を初めて読みましたが、シズナカって何ですか？」と問われて、エッ！ と絶句(ホントのハナシ)。

創立141年を迎える母校の歩みも早や歴史になったか、と感慨に耽りました。その長い校史の中で忘れられない出来事が、戦後の旧制・静岡中学から新制・静岡高校へと転身したあの学制改革です。体験した先輩たちはもとより、身近な歴史的知識として承知している同窓生も今や絶滅危惧種となりました。それにしても、なぜ我が同窓会はいまだに「静中・静岡同窓会」と称するのでしょうか。私を驚かせたA君のためにも、すでに歴史となってしまった「学制改革」なるものを振り返ってみたいと思います。

敗戦後間もなく占領軍最高司令部(GHQ)は日本民主化政策として農地改革、財閥解体など様々な政策を推し進めました。その一環として昭和23年(一九四八)実施されたのが教育改革です。戦前まで中等教育は中学校、士官学校、高等学校尋常科、師範学校予科、大学予科、青年学校・・・などなど

複雑だった学制を現行のように改めたのです。いわゆる6・3・3制です。5年制の中等学校は3年制の新制・高等学校になったのです。静岡中学は静岡高校になりました。そして、その年4月、中学4年生となるべき生徒たちは高校1年生となりました。その間、校名は静岡第一高校、城内高校と二転三転しました。最終的には県立静岡高等学校となったのですが、静岡の高校では静岡県を代表する唯一の高校の様に受け止められ、エリート臭ふんぷんだという声もあつたといひます。

終戦から3年、空襲によって全壊した長谷の校舎を棄てた静岡中学は、焼残った住友金属や三菱重工の工場跡から駿府城内の連隊兵舎を校舎として新制・静岡高校はスタートしました。その頃のことを66期の望月義弘さん(昭和19年入学)は「文集・回想・静岡中学」で「入学した途端、ゲートルを巻いての集団登校、歩調をとれ！ 敬礼！ まったくの軍隊。制服の金ボタンから学帽を飾った金属製の校章まで供出させられ瀬戸物やボール紙に替わった。終戦の詔勅を聞いて腑抜けになった軍国少年も、勉強ができるぞ！ と喜んだものの教室は軍事工場跡や連隊兵舎でしかも午前午後の2部授業。そんな中でいつの間にか高校生になった・・・」と記しています。

中学から高校へ、戦争から平和へ名称も教育内容も180度の変わりようでしたが、先生も生徒も歌い継がれてきた岳南健児の校歌も明治20年ごろ制定されたという校章(五つのアカデミーのAを表わす)も変わらず、静岡中学は静岡高校となったのです。校歌は一番だけとされ、二番以降にある「義勇奉公四ツの文字」とか「文武ノ道」とか「大現神天皇ノ稜威を四方ニ」とかいう歌詞は民主教育にふさわしくないと二番以降削除されました。こうした経緯があつて、同窓会は「静中・静岡・同窓会」となったのです。もともと、正式な法人名は「静岡県立静岡高等学校同窓会」ですが、同窓会規約によって「静中」を付しても良い、となっています。旧制中学の名を冠している高校の同窓会は珍しいようです。私の居住している神奈川県では、希望ヶ丘高校(旧制・県立尋常中学校)は「桜蔭会」、小田原高校(旧・県立第二中学校)は「樗友会」、横浜翠嵐高校(旧・県立第二中学校)は「翠嵐会」、湘南高校(旧・県立湘南中学)は「湘友会」・・・と旧制中学名を付した同窓会はありませんでした。

学制改革によって「静高」となつてから76年、当時を知る同窓生は80歳台の後半となりました。関東同窓会で毎回会報を送る同窓生は四、二〇〇名、その

うち67期以前の静岡中学を知る先輩は317名です。75%に過ぎません。全国版であっても事情は同じでしょう。若い世代から、もう「静中」を外してもいいのではないか、という声が聞こえます。皆さんはどう考えるでしょうか。317名の先輩の数を少ないと考えるか。「静中」で入学して「静高」で卒業したある先輩は、勉強どころではなかった戦時中、思い切り勉強ができた喜びに沸いた戦後の学園生活のアレコレを語るとともに『俺たちは消え去るのだから、同窓会で若い人たちと語り合うのが何より楽しい。とりわけ後輩女子とは（笑）。・・・静中』を消すのは、俺たちが皆この世からオサラバしてからにしてくれ』と、まだまだ同窓会での存在感ありを強調されました。

思うのですが、こうした先輩たちが総退場したとしても、創立141年の切れ目のない伝統を後世に伝えるために「静中」は外せないのではないのでしょうか。

関東同窓会費納入のお願い

関東同窓会は会員の会費（年間3千円）で運営されております。同窓会会費の集まりは多いとは言えませんが、同窓生、同期生に声を掛け合い、ご協力をお願いいたします。同封されている郵便局振込用紙をご使用ください。

青い鳥の金の卵

岳南球友会員 94期 松永 啓

一九一九年の県初優勝から百周年の夏、球友大会で七二期浦部常喜一塁手（立教大四番打者・当時三番は長嶋茂雄）より皆に賜ったお手製「絆・バットアクセサリー」をお護りに、球友達は庵原・浜松・草薙の七勝を見た。令和元年決勝七回五連打逆転が百年を象徴した。連投のエース松下投手を二年生左腕松本連投手が継投し、石田投手が締めた快投リレーが百年を繋いだ。

甲子園は大会二日目に前試合履正社五発の余韻に迎えられた。強豪津田学園の迫力打線に序盤から攻められたが、リリー

フ松本連が臆せず振る左腕が四連続三振を奪って流れを戻す。神谷二塁手、齋藤来音右翼手等が、注目の前投手から安打するも、ここぞの代打樋口内野手ジャストミートライナーが前投手のグラブに捕らえられ〇対三の八回裏、遂に小岩主将捕手の三遊間安打で一点、九回にも夏目一塁手の快打に片鱗を見せたが、好ゲームに敗れ十五年間夏聖地ゼロ勝となり、これも歴史。昭和五年夏に鈴木芳太郎投手等が勝ってから昭和二三年夏の森

アルプスは希望の歌だ 来音弾



山秀夫投手等まで十八年間夏春勝利無し。昭和五三年夏に太田智之投手等が鹿実に勝ってから平成十一年夏の高木康成投手等まで夏二一年間ゼロ勝と・毎度のこと（笑）だ。勝利まであと一步の聖地で全国同窓ファンがにこやかに挨拶して盛夏浪花の昼生ビアで一息。またの日に、ともにお盆を越えざあやと、梅田界限で希望の歌。

秋は、もちろん健闘したが、お彼岸の県準々で加藤学園に逆転サヨナラ負けし、ひたすら精進の時が来た。初心に戻り徐々に成長し、十一月月上旬に静岡市大会で健闘。十一月二十四日には、史上初めて東大（下級生）とのフレッシユ戦（草薙）に挑む。明治二十九年に静岡野球部初代主将柏原知格様が、旧制第一高等学校野球部の同僚を静岡校庭に



関東に心をつなぐ 浪華びと

招いた合同練習以来一二三年振りの最高学府との切磋琢磨。この静岡静高というチームが、わが国野球創始者正岡子規のチームから直伝を受けた天然記念物の「青い鳥」野球団と理解しているのは誰だろう。

今春、東京の筑波大附属中から現一年生の石塚外野手が「野球と勉強が両立できる高校」として全国から本校を選択して入学した。同窓生は今こそ「金の卵」を温めたい。晩秋の球友セミナーで九十期植松精一中堅手が球友達に語った。「僕はやつと静岡に入った石ころ選手です。そこで出会った金の卵達に驚き、日々多くの先輩に教えられ鍛えられ、必死に静岡についていきました。そのことを出来れば今後、静岡に教えに行きたいと思っています。甲子園のお盆？ そりゃ越えますとも（笑）」

静高生を支えるPTA図書館ボランティア 母校図書館で見つけた大人の部活動

95期 見原 万智子

今回の静高教育講演会アンケートで、ある生徒が「静岡高校の図書館は全国を見てもなかなかない素晴らしい図書館である。そんな図書館を100パーセント活用して色々な本に出会いたい」と書いています。

そこで先日、同窓会事務局の計らいで、静岡図書館にお邪魔して来ました。

耐震・空調工事を経て採光部がより広くなった図書館は、居心地の良さを増していました。入口から見て左がメインの書架、右が閲覧コーナー。司書の大塚さんが、静岡の年間カリキュラムと照らし合わせ、その都度びつたりな本を選び、中央

の棚に展示しています。

この日は嬉しいことに、山下雅子さん（90期）にご尽力いただいていた関東同窓会古書コミ活動の記録と、その収益で購入した夏休みの課題図書が、中央に展示されていました。

開館日は年間約300日。国内の高校ではほとんど類を見ない日数だそうです。通常開館時間は8時20分から18時50分まで、ボランティア活動のある土・日・祝日は16時30分まで開館。ボランティア希望者は常時200人超、お当番が回ってくるのは年に1、2回、ときにはキャンセル待ちが出るほど活況なのだとか。膨大な蔵書に囲まれ落ち着い



夏休みの課題図書（左）と教育講演会の記録（右）



生徒の手書きポップで話題の本を紹介

て学習できる時間と空間が、保護者の活動によって提供されている。頭が下がるという言葉では足りない感動を覚えました。また、オブシユナルな活動として都内の大学図書館見学バスツアー等が行われ、子どもたちの卒業後もボランティアOBOGの親交が続いているそうです。まさに大人の部活動です。この日も、お気に入りの席を確保するために、生徒の

ペンケースやリュックがいくつも閲覧コーナーに置かれていました。教育格差が広がる昨今、第二の人生模索中の我々ミドル・シニア世代ができることは何か、思いを馳せました。帰りがけに大塚さんが「同窓生は静岡図書館の本を借りられますよ」と教えて下さいました。皆さんも帰省の折に、母校の図書館でひと時を過ごしてみたいかがでしょうか。

〈天皇陛下の素顔〉 自由と青春を謳歌された英国留学時代

82期 八牧 浩行

天皇陛下（浩宮さま）の英国オックスフォード大学留学時代（一九八三～一九八五年）に時事通信のロンドン特派員として代表取材し、その「素顔」に触れた（写真＝筆者撮影）。

一九八三年八月、エディンバラ近郊の小高い山、アースリーズシート（アースの王座）に登られた際は、登山が得意でないカメラを担いだ私を気遣い、「大丈夫ですか？」と時折歩を止め、カメラアングルのよい見晴らしのいい場所ではポーズまでとってくださいました。そして「（御用邸のある）那須を思い出しますね。母から手紙が来ました」と懐かしそうに語りかけられた。美智子さまを深く尊敬されているようだった。

一九八四年一月、欧州中央の王国リヒテンシュタインの皇太子に招かれた際も同行した。王宮の近くのスキー場で、浩宮さまは皇太子らとスキーを楽しまれた。本社からは「滑走姿の写真を撮るよう」指示されたが、広いゲレンデで多くのスキーヤーがいる中で、あつという間に滑り下り、ファインダーに捉えることができない。困り果てていると、「おーい！」と大声がかかり、ゆっくりと滑りポーズをとってくださいました。

オックスフォード大では普通の20代の若者と変わらず、自由と青春を謳歌されていた。Gパン姿で高級デイスコに入ろうとして断られたこともある。柏原芳恵やブルック・シールズの



一九八三年十二月
オックスフォード大で学友と談笑

ファンで、彼女たちの写真を寮の部屋に貼っていた。

ある時、英国の大学と日本の大学の違いを質問したら、「こちらの大学のゼミのやり取りは面白い。日本では女子学生はおとなしくあまり発言しませんが、元気でどんどん発言し、論破されてしまいます。いいですね」と目を輝かせ、「自分の意見をはっきり述べ、服装も気取らず地味なのに感心しました」。

浩宮さまにはほのかに憧れていたクラスメイトがいた。ノルウェーの聡明な人。「同伴が必要な」パーティーの誘いの手紙を出したら、行ってくれと返事があった」とうれしそうに話していた。理想のお妃像を尋ねたところ「ティファニーであれやこれやと買い物する人では困

一九八三年八月
エディンバラ城を見学



ります」ときっぱり。

多くの外国人と交流され、平和友好と多様性を尊重すべきであることを学ばれた。お酒も嗜み、パブや寮の食堂などで学友や市民と談笑していた。趣味のピアノ演奏やテニスの腕前は一流。真面目で博識、ユーモア精神にあふれ、私に「ロンドン特派員はいいですね?」と冗談を言っただけで笑わせることもあった。英国、オランダなどの皇族のように露出がもっと多ければ内外の人気も高まるであろう。

「寮の部屋ごと、記念に持って帰りたい心境です」。85年10月、留学を終えられた日の率直な感想である。英国留学が充実し、かけがえのない青春の思い出だったと、心から感じていることがうかがえた。

ウニ牧場、南部曲り家、山地酪農 今年も岩手を満喫、心身リフレッシュ

静高関東同窓会有志による恒例の岩手ツアーも今年で六回目を数え、七月二十一日に開催の運びとなった。毎度のことながら、現地でNPO「Save Iwate」をベースに復興支援活動を展開する寺井良夫氏(92期)の全面的なサポートを得て実現。現地の自然と食を大いに楽しみ、地元根付いた活動を繰り広げて地域振興に勤む方々から多くのことを学んだ。

今年のテーマは、「三陸のウニと山地酪農・海・山の幸と震災九年目の復興現場見学」。第一回ツアーで北三陸の久慈を訪れているが、今回はその少し北側、青森との県境に位置する洋野町と久慈市の南に位置する野田村・田野畑村が目的地となった。ツアーには、前関東同窓会長の多賀谷秀保氏(82期)以下、87期3名、92期10名の総勢14名が、遠くは大分や三重から、前泊あり、夜行バスありで盛岡駅に集結した。

殻剥きしたウニに舌鼓

マイクロバスは東北自動車道を北へと向かい、九戸で降りて海へとひた走り。着いたところは北三陸の洋野町にある北三陸ファクトリー「ひろの屋」。遠浅の岩場が続く海岸にウニが生育

するための溝を掘ったウニ牧場を造り、そこに三年経ったウニを放つて、一年間ワカメや昆布を食べて育つのを待ち収穫する。ここでは採れたてのウニの殻剥きに挑戦した。ピンセットで海藻やらワタを除去するのだが、とても難しい。用意いただいた30個のウニと格闘(?)の末、総計500gほどになった生ウニの身を携えて、食堂「はまなす亭」へ。ここでは少々奮発して、生ウニ丼と持参のウニを「追いウニ」にして海の幸を堪能した。

電話のない茅葺の宿で至福の時

ウニを満喫した後、バスは本日の宿である野田村の「苦屋」へ。苦屋は築160年余りの南部曲



ウニの殻剥き

世代を超えた同窓の絆・異業種交流会 奮って参加を!

1月31日に第25回を開催

静中・静高関東同窓会の異業種交流会は、毎回世代を超えて多くの方々にご参加いただいております。楽しく有意義なひと時を共有しましょう。ツイッターでも発信されています。

(「静中・静高関東同窓会異業種交流会」@shizukokantou)
なお、静中・静高卒業生の皆様のほかに、「友呼び」といたしまして、同窓生の同伴を前提に、ご家族をはじめとする卒業生以外の方の参加をご依頼し、より有意義な会にして参りたいと思います。先輩・後輩・お客様等に一声おかけ頂き、ご参加いただきたいと思ひます。さらに交流の輪を広げていきましょう。

【第25回目】 2020年1月31日(金) 午後6時30分～9時
会場 日本プレスセンタービル 日本記者クラブ9階大会議室
会費 5千円 家族・現役学生3千円
ファーストスピーチは杉山順一会長(84期)の予定です。
ご参加は下記にご連絡ください。

Eメール kksamatsu-rep@wine.ocn.ne.jp (笠松)
もしくはFAX 03-3257-0820

(静中・静高関東同窓会事務局)

なお19年10月25日(金)に開催された24回異業種交流会では、八牧浩行氏(82期)の「新天皇の素顔&日中経済文化促進会」をテーマとしたファーストスピーチをきっかけに飲談の輪が広がりました。浩宮さまの英国留学時代に通信社特派員として密着取材した同氏のスピーチでは、多くの「とっておきの秘話」が披露され、新天皇の率直で飾らない人柄が浮かび上がりました。



異業種交流会 (19年10月)

幹事 笠松一久(89期)、青山亮介(119期)

り家と呼ばれる茅葺屋根の古民家。我々とはほぼ同世代のご夫婦が営んでいるが、何とこの宿は電話もネットも無い。予約のための連絡手段はすべて郵便らしい(宿の中は圏外です)。ただ、震災後にはボランティアの基地になったという。囲炉裏端で地の料理と酒に舌鼓を打ちながら、和やかな至福の時間を過ごした(残念ながら、寺井氏と私は早々と沈没)。

厳しい自然下で酪農、チーズは格別

翌朝はお世話になった苦屋を後にして、バスは山道をひたすら進んで田野畑村へ。そして北三陸の山間で山地酪農を営む吉塚牧場に到着。案内いただいた吉塚氏の話では、大学卒業後の一九七四年に千葉から単身移住され、ランプ生活10年を経て、ようやく電気が通ったとか。今年、岩手テレビの開局50周年記念事業でこの牧場の24年に渡る記録が「山懐に抱かれて」と題する映画となった。

敢えて厳しい自然環境で酪農を営む吉塚氏。立派なトラクターがあったが一台600万円もするらしい。「国や地方自治体から補助金はあるのですか？」と聞くと「とんでもない。国は自国の酪農を邪魔者扱いにしてい



苦屋の前で集合写真



囲炉裏で談笑

るんです。ここでの仕事は国に逆らっているようなもので、助成などあるはずありません」と言われていたのが印象に残った。とかくグローバル化だTPPだ、と普段は消費者目線でしか考えていない我々であるが、何とか頑張ってほしいものだ。

牧場を案内してもらった後はいよいよ食タイム。牧場メイドのソーセージと牛乳をいただいた後、温めた牛乳に酢を注いで作るチーズを食べさせてもらった（カッテージチーズと称するとか。私は初めて知りました）。

農家食堂の郷土料理

吉塚牧場を後にして、バスは野田村の「農家食堂

新 HP の運用開始

静中・静高関東同窓会 新ホームページの運用が始まりました！

shizuko-kanto-alumni.com



S

ホームページ
どこからでもホームページに
戻れます。

総会 異業種交流会 実務会 古書コミ 会報 同窓会組織 リンク集 お問い合わせ

それぞれのタブに開通した
別開を表示できます。

同窓会組織、お問い合わせ、その他の
リンクを見ることが出来ます。



10
JUL 2019

221. 2019年7月5日(金)開催 古書コミ報告 (2019.7.10)

2019年7月5日の関東同窓会総会にて、今回も古書コミ活動実施され、多くの本が集...

お知らせ 古書コミ

記事を検索欄に表示しています。
タイトルをクリックすると、記事の全文を表示させる
ことができます。

09
JUL 2019

220. 2019年度 関東同窓会 総会開催 (2019.7.9)

2019年7月5日(金)、日本プレスセンターにて、2019年度(令和元年) 静中...

お知らせ 総会

2019. 10. 20

つきや」に到着。ここも古民家を改装した造りで、出された郷土料理は、黒豆豆腐など、やさしい味のものが多くあった。食べ続き飲み続きで車内は爆



チーズ作り

睡モードに。盛岡に戻って来たところであらうど開催中の「手しごと絆フェア」・「りあすぱくマルシェ」に立ち寄り、最後まで三陸の味を堪能した。そして旅の終わりに盛岡駅へ。少々名残惜しいが一年後の再会を約して解散となった。

そして翌日には、来年二〇二〇年の企画が始まっていた。今回は食と飲が主体だったが、来年は少し勤労色を出すことを考えているようだ。皆さんも参加されては如何でしょうか？

末筆ながら、寺井さんそして運転いただいた北田さん、有難うございました。(文：永田、写真：浮田・徳丸、以上92期)

個人のお客様も法人のお客様も！
各社の保険を扱うことができるため、一人一人に合わせた保険設計をさせて頂いております。保険のセカンドオピニオンとしてご利用ください。法人のお客様向けには、事業保障・相続・承継対策として、プロのファイナンシャルプランナーが幅広くサポートをさせて頂きます。

ファイナンシャル・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-23-1 第3TOCビル10F

ファイナンシャルプランナー (2017年MDRT会員)

青山亮介 (119期)

090-9931-0929 お気軽にご相談ください！



お一人様でも団体様でも！

カラオケバー **BAR K**

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1丁目12-7 三恵31ビル7階 C号室

TEL 03-5423-2287

オーナー 青山亮介 (119期)

090-9931-0929



非破壊検査のトータルサプライヤー

日本マテック株式会社
NIHON MATECH CORPORATION
代表取締役社長 **松島 勤** (84期)

東京本社：東京都新宿区若葉 1-21-17 3F
 TEL: (03) 3221-7531 FAX: (03) 3221-7240 (〒160-0011)
 大阪支社：兵庫県高砂市春日野町4-35 グランメーブル435 1F
 TEL: (079) 447-1561 FAX: (079) 447-1556 (〒676-0814)
<http://www.matech.co.jp/>

編集後記

▼7月の総会・懇親会の想い出が甦ります。2020年は7月3日(金)に開催。冬の総会・各期幹事会は1月18日(土)です。ともに楽しいイベントですので奮ってご参加ください。

▼今号も多彩で充実した記事が多く寄せられました。恩田侑布子さんの教育講演会を中心とした俳句特集も読ませました。

▼同窓の絆を改めて実感するエピソードが満載。古書コミ報告中の「生徒の本です」(10頁最上段)の作家は若桜木さん(同頁2段目)。古書コミ本を通じて子弟が繋がりました。江の島会で実現した「命の恩人に感謝」(11頁)も同窓会ならではのようです。

不動産のことならお任せください
 最初から最後まで私自身が動きます

(株)自由が丘不動産ソリューション
代表取締役 **曾根 正裕** (95期)

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢7-7-21-013
 TEL 03-6809-7803 FAX 03-6809-7903

高きを仰ぎて心を繋ぐ 学び合い語り合い、
 時空を超えて 繋ぐ岳南球友の心。
 さあ一緒に吾等が聖地を駆けましょう。

岳南球友会


会長：望月 一男 (70期 野球部)

H P「岳南球友会」
 連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)
 メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん

静岡おでんガッツ

〒169-0075
 東京都新宿区高田馬場 2-19-8
 阿部ビル 1 階
 03-6273-8663
<http://shizukaoden-guts.red>

代表：市川徳二 (112期) 

幼児教育に新しい風を

代表取締役 **久野泰可** (83期) 取締役 **久野淑子** (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
 TEL 03-3463-3815

Lighting For Your Safety

Koito
<http://www.koito.co.jp>
安全を光に託して

人とクルマの安全は私たちの願いです。
 グローバルサプライヤー 小糸製作所

【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111
 【工場】日本、USA、UK、チェコ、タイ、インド、中国、メキシコ 他
 小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)

代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1

TEL 054 (354) 3015 (秘書室)

京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7

TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111(代)

東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ

ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16

T 0 3 - 5 8 4 7 - 7 7 8 5

F 0 3 - 5 8 4 7 - 7 7 8 8

architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp

w w w . r v s t o n e . c o m



www.yanmo.co.jp

小林 秀男 (97期)

<南青山> 東京都港区南青山5-5-25 T-PlaceビルB1

TEL: 03-5466-0636 (日曜日のみ休)

<丸の内> 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1

TEL: 03-5224-3322 (定休日なし)

<大手町> 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビルB1

TEL: 03-3278-7272 (土日祝定休)

伊豆の旬 やんも

仕出し厨房 やんも

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3

戴下ビル6F

(TEL) 03 (3251) 2348

(FAX) 03 (3257) 0820

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

Record China

日本最大の中華圏情報サイト(日本語)

Record Japan

中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

相談役・主筆 八牧 浩行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館7F

TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17

TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848

E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

昼2時より夜11時まで診療

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 ^{フラ シナ アキ オ} 藁科名雄 (87期)

東横線 中日黒下車 徒歩5分

TEL 0120-376-480

FAX 03-3710-8847

〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

みんなでわいわいガヤガヤと

ブックカフェ 二十世紀

コーヒーと軽食、夜はワイン他

貸切パーティー承ります

鈴木 宏 (91期)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4 2F

TEL 03-5213-4853

古本売買 出張買い入れ ご相談

二十世紀記憶装置

@ワンダー

鈴木 宏 (91期)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4

TEL 03-3238-7415

フリーダイヤル 0120-154-727